

平成 30 年 12 月 16 日

多摩美術大学校友会
会長 寺内隆 様

多摩美術大学 千葉県支部
会長 深山護之助

平成 30 年度 千葉多摩美会美術研修報告

寺内会長はじめ校友会本部の皆様には、今年もお世話になりありがとうございました。
11 月 23 日、会員 11 名一般参加 3 名の参加者があり、千葉県いすみ市と大多喜町の 3 カ所を訪ねる美術研修会を実施いたしました。

はじめに、いすみ市大原漁港近くに今年 11 月オープンした齊藤惇日本画美術館、(愛称星のおじさま美術館)を訪ねました齊藤惇さんは千葉多摩美会を立ち上げ、初代会長をされた方です。長年にわたり千葉県の美術教育に貢献し、院展に出品された日本画家です。

ご長男の齊藤泰嘉さんは、筑波大学教授を退官されてから、お父様の作品保存と画業の紹介のため、日本画の聖地、北茨城の五浦を思わせるここ房総の海近くに美術館を作られたそうです。当日は天気に恵まれ「房総の五浦」の絶景も堪能でき、ご丁寧な作品の解説をうかがいながらゆっくりと作品鑑賞を楽しませていただきました

次に行元寺を訪ね、江戸時代に活躍した彫工・武志伊八郎信由(初代波の伊八)の代表作で、葛飾北斎作「神奈川沖浪裏」の作品に大きな影響を与えたのではないかとされている客殿の欄間彫刻を見学。

最後に大多喜町役場へ、旧庁舎は今井兼次氏設計により昭和 34 年・建築学会賞を受けた名建築。現在耐震補強が行われ、当時の原型が見事に保存されていました。建築当時、多摩美で今井先生の講義を聴いた方が居り、そのお話でより臨場感を持って見学することができました。

以上、ご報告申し上げます。